



学校説明会・体験入学のお知らせ

北海道美唄聖華高等学校

(美唄市東6条北2丁目1-1)

◆道立の看護高等学校。5年一貫教育で看護師を育成している。

① 衛生看護科

人間の身体のしくみや患者さんの日常生活のお世話について等、看護の基礎について学ぶ。

② 専攻科看護科

色々な病気の症状や治療、それに伴う看護について学ぶ。また、日常生活のお世話については、患者さんの様々な状況に合わせた看護ができるよう学習を深める。

◆経費 授業料:118,800円

施設費:なし

その他費用:163,722円

※2024年度データ

入学手続き時:169,372円

初年度納入金は合計で約288,172円

【学校説明会・体験入学】

○ 6月20日(土) 学校説明会(ZOOM) 13:00~14:10

※ミーティング名・ID・パスコード/申込手続き後、メールでお知らせ

※資料のダウンロード/HPからデータをダウンロードしてください。

※手続きには必ず Google アカウント(Gmail)をご利用ください。

【申込】<https://forms.gle/SsmqdRQKBbkQdafY8>

・パンフレット・学校説明会資料・奨学金について

・スライド資料 をダウンロード

※申込×切/6月11日(木)

【内容】学校概要・学校紹介・質疑応答・アンケート



○ 7月18日(土) 学校説明会(対面)/札幌開催 13:00~14:10

【場所】かでの2・7道立道民活動センター

札幌市中央区北2条西7丁目

【申込】<https://forms.gle/SsmqdRQKBbkQdafy8> から

参加申込みフォームから申し込む

※手続きには必ず Google アカウントをご利用ください。

※申込×切/7月16日(木)



【内容】学校概要・通学状況・寮生活・進路状況・学校行事・部活動



○ 7月30日(木) 学校説明会(対面)／本校開催

① 午前の部 9:00～9:30 ② 午後の部 13:00～13:30

【場所】本校(第2講義室・実習室・若草寮)

美唄市東6条北2丁目1-1

※JR 美唄駅からタクシーで約5分(料金約 700 円)

【申込】<https://forms.gle/SsmqdRQKBbkQdafy8> から
参加申込みフォームから申し込む

※手続きには必ず Google アカウントをご利用ください。

※申込×切／7月16日(木)

【内容】学校概要・通学状況・寮生活・進路状況・学校行事・部活動



○ 9月5日(土) 学校説明会(ZOOM) 13:00～14:10

※ミーティング名・ID・パスコード／申込手続き後、メールでお知らせ

※資料のダウンロード／HP からデータをダウンロードしてください。

※手続きには必ず Google アカウント(Gmail)をご利用ください。

【申込】<https://forms.gle/SsmqdRQKBbkQdafy8>

・パンフレット・学校説明会資料・奨学金について

・スライド資料 をダウンロード

※申込×切／8月27日(木)

【内容】学校概要・学校紹介・質疑応答・アンケート



○10月10日(土) 体験入学／本校開催 13:00～15:36

【場所】本校(体育館・教室・実習室・若草寮)

美唄市東6条北2丁目1-1

※JR 美唄駅からタクシーで約5分(料金約 700 円)

【申込】 <https://forms.gle/6skyV9sPSfwct4zb8> から
参加申込みフォームから申し込む

※手続きには必ず Google アカウントをご利用ください。

※申込×切／9月24日(木)

【内容】グループ別体験(模擬授業・模擬実習)・質疑応答・アンケート



津田梅子の進路選択

津田梅子は、日本の女子教育の発展に大きく貢献した教育者です。彼女の進路選択は、時代の制約を超え、自らの信念を貫いた勇気ある決断の連続でした。梅子がわずか6歳のとき、岩倉使節団に随行する女子留学生として、アメリカに渡ることになります。当時の日本では、女性が海外で教育を受けること自体が極めて異例であり、不安や孤独もさぞかし大きかったことでしょう。しかし梅子は、その環境の中で英語と西洋文化を吸収し、広い視野と強い自立心を育てていきました。

11年間の留学を経て帰国した梅子は、日本の女性たちの置かれた状況に衝撃を受けます。多くの女性は十分な教育の機会もなく、従属的な立場を強いられていました。彼女はその現実疑問を抱き、「女性も学ぶことで人生を切り拓ける」という信念を持つようになります。一時は宮中の語学教師などを務めますが、梅子は再びアメリカに留学、高等教育を学ぶという進路を選びます。自らの学びをさらに深めたのち、日本に戻った彼女は、女子英学塾(現在の津田塾大学)を創設。女性のための本格的な高等教育機関として、後進の育成に力を尽くしました。

津田梅子の進路選択は、周囲に流されることなく、「自分が本当にすべきことは何か」を問い続けた結果でした。彼女の生き方は、今を生きる私たちにも、性別や常識にとらわれず、自らの可能性を信じて、挑戦する大切さを教えてくれます。

